

2024年2月22日

防災・危機管理部防災・危機管理課
防災G 課長補佐 小林

内線：2882 直通：029-301-2885

令和6年能登半島地震に係る県の対応について（2月21日16時時点）

1 人的応援

派遣人数

区分	2/21 16時時点		これまでに派遣した本県関係者数		概要（主な活動内容）	
	本県関係者数	うち県職員	本県関係者数	うち県職員		
本県への派遣要請	応急対策職員派遣制度	44名	22名	326名	165名	避難所支援、罹災証明書発行及び住家被害認定支援
	技術職（農業土木職）	1名	1名	2名	2名	農地・農業用施設の被害状況の調査等
	DHEAT	—*	—	20名	20名	被災情報等の収集・分析評価、受援調整支援等
	DMAT	—*	—	116名	13名	本部活動支援、患者搬送等
	保健師等	8名	4名	48名	25名	在宅高齢者訪問における健康相談や感染症対策
	DPAT	—*	—	18名	11名	被災者に対する精神医療の提供
	DWAT	3名	0名	6名	0名	避難所における福祉的支援
	給水支援	8名	0名	127名	6名	給水車による給水タンクへの補給、住民への給水等を実施
	被災建築物応急危険度判定士	—*	—	4名	4名	余震等による二次被害防止のための判定支援
教員派遣	1名	1名	4名	4名	2次避難先の中学生に対する教科指導、生活指導	
団体への派遣要請	介護職員等	1名	0名	8名	0名	福祉施設等における介護等
	社会福祉協議会職員	4名	0名	19名	0名	災害ボランティアセンターの設置・運営支援等
	JRAT	0名	0名	15名	1名	現地本部支援及び避難所におけるリハビリ支援
	災害支援ナース	—*	—	4名	0名	避難所における被災者の心身のケア
	JMAT	0名	0名	0名	0名	避難所等での医療や健康管理、病院・診療所支援 (2/26～派遣予定)
計	70名	28名	717名	251名		

※ 「—」は派遣が終了したものの。

(1) 全国知事会からの要請

①石川県能登町への対口支援

- 避難所支援、罹災証明書発行や住家被害認定支援のため、県及び市町村職員を派遣。
- ・派遣期間：1月6日（土）から3か月間程度
 - ・派遣人数：延べ446名程度
 - ※ 1班 10～22名の班を編成し、原則5日間ごとの交代で計 24班派遣予定
 - ・現在、第 15班（22名：県職員11名、市町村職員11名）が現地対応中（避難所支援：10名、罹災証明書発受付：4名、住家被害認定調査：6名、リエゾン：2名）

②石川県への県職員派遣

石川県へ農業土木職1名を2月から派遣。

- ・派遣スケジュール
2月5日～3月31日
- ・派遣先
石川県中能登農林総合事務所
- ・業務内容
七尾市の農地海岸及び農地・農業用施設の災害査定用の査定設計書作成業務

(2) 厚生労働省関係

①災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）

- ・1月6日から30日までの間、1チーム5名（医師1名・保健師2名・ロジ2名）を概ね1週間ごとの交代で計4班派遣。活動拠点（能登町）において被災情報等の収集・分析評価、受援調整支援等に従事。
- ・厚生労働省より、2月29日から3月20日までの追加派遣可否について調査があったことを受け、本県として対応可能な人員数や派遣期間について調整中。

②災害派遣医療チーム（DMAT）

- ・1チーム4名（医師1名・看護師2名・ロジ1名）を基本とし、2月4日までに23チームが本部活動支援や患者搬送等に従事。2月5日以降、全国的にDMATの派遣要請はなされていない。
- ・また、1名単位での派遣を基本とし、総合調整を担うDMATロジ隊員について、1月18日から21日までの間に8名が活動終了。2月21日以降、全国的に派遣要請はなされていない。

③保健師等

- ・1月8日から3月1日までの間、1チーム4名（保健師3名、ロジ1名）を6日間ごとの交代で計13班派遣予定。
- ・第11班が輪島市内の在宅高齢者訪問支援に従事し、本日活動終了。引き続き、第12班が活動を開始し、輪島市保健師の支援、住民の健康相談や感染症対策に従事。

④災害派遣精神医療チーム（DPAT）

厚生労働省から本県にDPATの派遣要請があり、1月6日から23日までの間、1チーム4～5名（精神科医1名のほか看護師等）を交替で計4チームを派遣。

⑤災害福祉支援チーム（DWAT）

厚生労働省から委託を受けてDWATの広域的な派遣調整を行う「災害福祉支援ネッ

トワーク中央センター（全社協）」から本県に DWAT の派遣要請があり、1 チーム 3 名（介護福祉士、社会福祉士等）を交替で計 4 チームを派遣。

・派遣スケジュール

2 月 15 日～3 月 3 日

・派遣先

石川県七尾市内の避難所

・活動内容

避難所での要配慮者（高齢者・障害者など）への福祉的支援（相談・生活支援等）

⑥給水関係の人的支援

水道事業関係の支援の窓口である日本水道協会からの要請に基づき、本県から以下のとおり職員を派遣

期間	支援内容
1 月 6 日（土）～1 月 1 0 日（水）	県内自治体から各期間給水車 2 台、職員 7～8 名を派遣 （うち、企業局からは職員 2 名を派遣）
1 月 1 0 日（水）～1 月 1 4 日（日）	
1 月 1 4 日（日）～1 月 1 8 日（木）	県内自治体から各期間給水車 3 台、職員 12 名を派遣 （うち、企業局からは 1/14～1/18 及び 2/7～2/11 に職員 各 2 名を派遣）
1 月 1 8 日（木）～1 月 2 2 日（月）	
1 月 2 2 日（月）～1 月 2 6 日（金）	
1 月 2 6 日（金）～1 月 3 0 日（火）	
1 月 3 0 日（火）～2 月 3 日（土）	
2 月 3 日（土）～2 月 7 日（水）	
2 月 7 日（水）～2 月 1 1 日（日）	
2 月 1 1 日（日）～2 月 1 5 日（木）	県内自治体から各期間給水車 2 台、職員 8 名を派遣
2 月 1 5 日（木）～2 月 1 9 日（月）	
2 月 1 9 日（月）～2 月 2 3 日（金）	
累計	給水車 32 台、職員 127 名

今後、日本水道協会において、5 日又は 7 日間程度の単位でシフトを組んで、随時派遣の要請がある予定

(3) 国土交通省関係

被災建築物応急危険度判定士の派遣

全国被災建築物応急危険度判定協議会（構成員：国土交通省、各都道府県等）からの派遣要請を受け、石川県珠洲市へ 2 班 4 名の判定士を派遣。

・本県派遣判定士による判定棟数

1 月 1 5 日	7 5 棟
1 月 1 6 日	6 8 棟
1 月 1 7 日	3 0 棟

(4) 文部科学省関係

2 次避難先の中学生に対する指導のため、教員を派遣

・生活指導業務

派遣期間：1 月 30 日（火）～2 月 3 日（土）

派遣人数：1 名

勤務地：石川県立白山ろく少年自然の家

・学習指導業務

指導教科（派遣期間・人数）

理 科（2 月 5 日（月）～22 日（木）、延べ 3 名（各週 1 名））

数 学（3月4日（月）～8日（金）、1名）
勤 務 地：医王山スポーツセンター、白山青年の家

（5）国等から団体への派遣要請

①社会福祉施設等に対する介護職員等の応援派遣

厚生労働省・こども家庭庁からの協力依頼（1月10日）に基づき、県内福祉関係団体等を通じて、福祉施設等に対し派遣可能な介護職員等の登録を依頼（登録は随時受付）。

- ※ 実際の派遣調整は厚生労働省等が実施。
登録者数：55名
派遣決定：8名

②社会福祉協議会職員の派遣

「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（※）」・全国社会福祉協議会からの要請を受け、県社協が災害ボランティアセンター設置・運営の経験がある県社協・市町村社協職員で構成したチームを派遣。

※（社福）中央共同募金会を設置主体として、企業・社会福祉協議会・NPOにより構成された全国的なネットワーク組織（災害時には被災者支援にあたる）。

・派遣スケジュール

1月24日から2月11日、2月16日～2月22日までの間、計5クール（1チーム3～4名・7日間）で計19名が活動。

・派遣先

輪島市、珠洲市、能登町、内灘町、かほく市等

・活動内容

災害ボランティアセンターの開設準備等の支援

③JRAT（災害リハビリテーション支援チーム）の派遣

- ・JRATからの派遣協力依頼に基づき、茨城JRATにおいてチームを派遣予定。
- ・現地本部支援として、1月29日から31日まで1名を派遣し、2月5日から9日まで1名を派遣。
- ・また、避難所支援として、2月6日から2月16日までの間、1チーム4～5名を3日間ごとの交代で計3班派遣。第4班を2月25日から27日まで派遣予定。

※JRAT：リハビリテーションの視点から、被災者・要配慮者などの早期自立生活の再建・復興を目指す支援活動を行う。リハビリ専門職等の団体で構成。

④災害支援ナースの派遣

- ・日本看護協会からの派遣要請を受けて、県看護協会が1月18日から21日までの間、1チーム4名を派遣し、避難所における被災者の心身のケアを実施。

⑤茨城県土地改良事業団体連合会職員の派遣

一般社団法人地域環境資源センターからの要請を受け、茨城県土地改良事業団体連合会が農業集落排水施設（主に管路部）の被災状況点検に係る技術職員を派遣

- ・派遣スケジュール

2月5日から9日までの間、1名

・派遣先

石川県志賀町

※ 一般社団法人地域環境資源センターは、農村地域における公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上等を目的に設立され、農業集落排水施設の調査・研究等を行う市町村や各県土地改良事業団体連合会等を会員とする組織。

⑥JMAT（日本医師会災害医療チーム）の派遣

・日本医師会からの派遣協力依頼に基づき、JMAT 茨城において5チーム派遣予定であり、具体的な派遣人数は調整中。

・避難所等での医療や健康管理、病院・診療所支援として、2月26日から3月13日までの間、1チーム当たり5日間ごとの交代を予定。

※JMAT：被災地の公衆衛生を回復し、地域医療の再生を支援することを目的とする災害医療チームであり、主に災害急性期以降における避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地の病院・診療所への支援を行う。

2 支援物資の提供

(1) 石川県に対しブルーシート1,000枚を提供

・全国知事会からの要請を受けて1月19日、県央総合防災センターに備蓄しているブルーシート1,000枚をトラック協会の協力を得て配送し、1月20日午前に配送先（石川県産業展示館4号館）に提供

※ 事業者等から提供のあった干しいもの提供

・茨城中央ほしいも協同組合（ひたちなか市）から干しいも（約200キログラム）の提供があり、能登町の避難所に提供済。

・ひたちなか市内の事業者及び生産者から干しいも（約300キログラム）の提供があり、能登町の避難所及び能登町役場に提供済。

※ 石川県は、物資の受け入れについて、各都道府県の物資リストから選別して当該都道府県に物資の提供を要請することとしており、本県においても水や食料等のリストを提供済。

3 義援金に係る募金箱の設置

4日に県庁舎、合同庁舎（水戸・常陸太田・鉾田・土浦・筑西）及び三の丸庁舎に募金箱を設置。集めた義援金については、日本赤十字社・共同募金会を通じて被災地に送付予定。

※ 日本赤十字社は1月4日から、中央共同募金会は1月5日から義援金受付を開始。

4 県営住宅の提供

被災者用住宅として県営住宅27戸及び民間事業者から提供のあった住宅を石川県に情報提供済

※ 家賃：最大1年間免除（光熱費は入居者負担）

※ 家電製品などの生活必需品を提供

（冷蔵庫、ガスコンロ、エアコン、電子レンジ、洗濯機、天井照明、布団）

※ 相談件数（2月6日まで）：6件（本県に身寄りがある被災者、提供済は0件）